第37回
カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会

優　勝　セントラルパークス
準優勝　豊上ジュニアーズ
第三位　松葉ニューセラミックス
第四位　光ヶ丘シャークス



開催期間　　平成29年11月～平成30年2月

主　催　カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 運営委員会

後　援　柏市・流山市・野田市・松戸市　各少年野球連盟
株式会社カリフ・柏食品株式会社
ダイワマルエス株式会社　朝日スポーツキッズ
流山ボーイズ

旬をつくる、カリフの麺。



株式会社カリフ

柏市旭4-11-8

☎04-7147-9691

第37回
カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会

目　次

伝統ある二本の優勝旗（写真）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第37回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会　決勝大会成績表 ・・・ 2

決勝大会 概評 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

新聞掲載記事「朝日スポーツキッズ」・・・・・・・・・・・・・・ 6
平成30年2月28日　No.280

ベスト4チーム（写真）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

大会スナップ写真・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

ブロックリーグ戦　成績表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

ブロックリーグ戦　概　評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会　歴代ベスト3 ・・・・・・ 34

第37回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会出場チーム・・・・・・ 35

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会開催要項（平成29年一部改正）・・・ 36

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会役員名簿（平成28年1月改選）・・・ 29

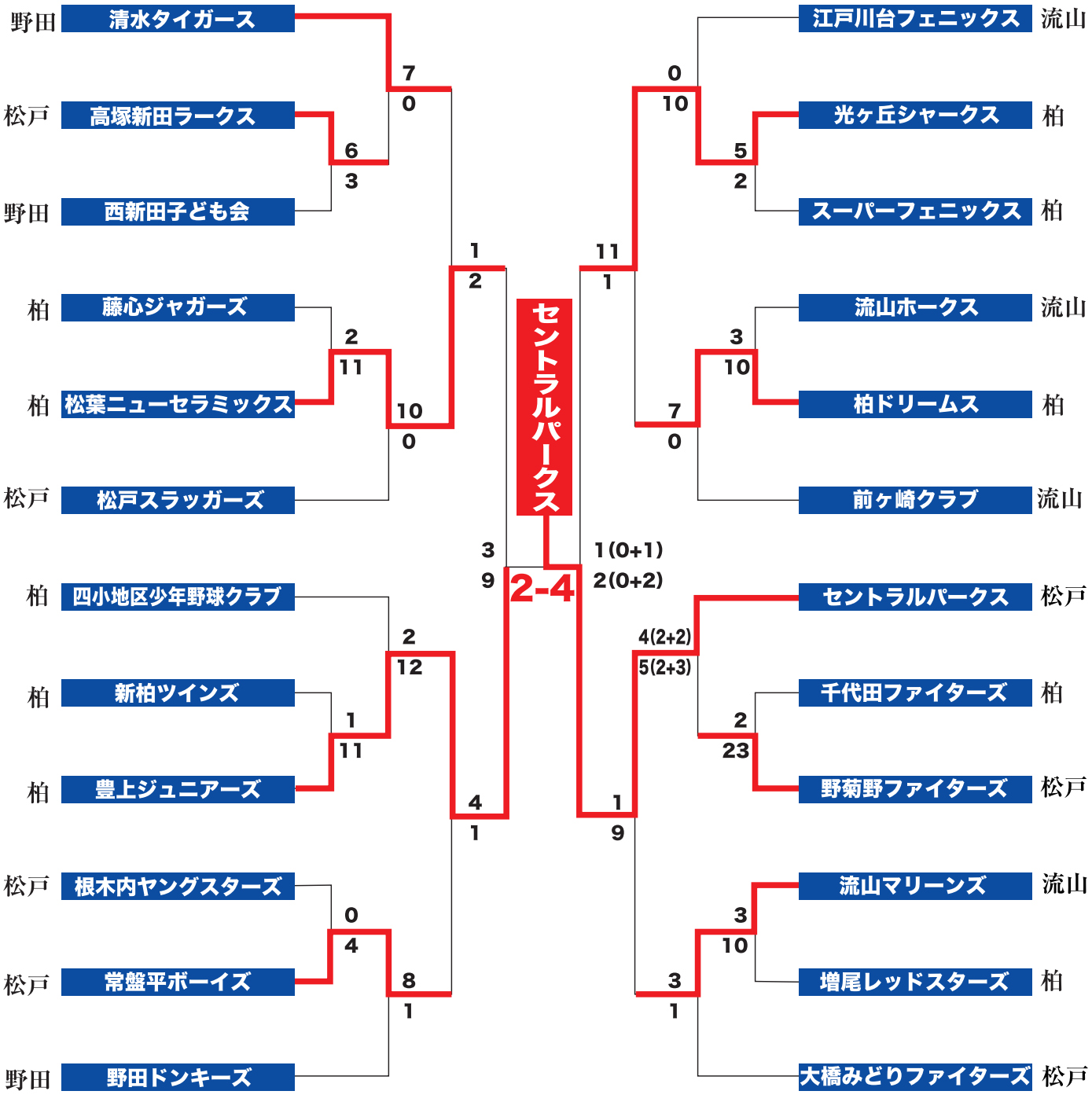
第37回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会会計報告・・・・・・・40

※写真提供は、㈱共同写真企画及び大会出場のベスト4チーム


カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会
カリフ杯少年野球大会
優勝
寄贈 松崎公昭


優勝 千代田ファイターズ
平成二十三年第三回優勝

第37回カリフ･マルエス旗争奪少年野球　決勝大会成績表



選手宣誓：清水タイガース

三位決定戦

7 6

松葉ニューセラミックス

光ヶ丘シャークス

☆ ★ 決 勝 大 会 概 評 ★ ☆

セントラルパークスが堂々の制覇

柏勢大健闘　ベスト４に３チーム

総数６９チームが参加して１２ブロックに分かれてリーグ戦を行い、そのうちの各ブロック上位２位までの２４チームによって行われる第３７回カリフ・マルエス旗争奪少年野球決勝大会は、平成３０年１月２０日（土）から２１日（日）、２月１０日（土）と１１日（日）の４日間にわたって野田河川敷グランドに於いて開催された。

今年度は１月下旬から２月初旬にかけて雪の天候などの影響で開催が出来ず、延期を余儀なくされたが、２月１０日（土）に漸くベスト８が揃って、翌日の１１日（日）に準決勝戦と決勝戦並びに三位決定戦が行われた。

大会をふりかえると、初日の１回戦８試合は１月２０日に野田河川敷グランドの４面で行われ、Ｆブロック１位の野菊野ファイターズ対Ｋブロック２位の千代田ファィターズとの一戦が接戦となって、野菊野ファイターズが勝利したが、その他の７試合は殆ど勝利チームの大勝に終った。

その中では、松葉ニューセラミックス、豊上ジュニァーズ、光ヶ丘シャークス、柏ドリームスの柏勢４チームと、松戸勢は上記した野菊野ファイターズをはじめ、高塚新田ラークス、常盤平ボーイズの３チームが勝ち上がり、その他地区では流山の流山マリーンベァーズだけが勝ち上がった。

大会二日目の２回戦８試合は１月２１日に行われ、この日は初日に勝利したチームと、１回戦がシードだった８チームが全て対戦した。対戦で圧巻だったのは、セントラルパークス vs 野菊野ファイターズの松戸勢同士の一戦で、２－２の息詰まる均衡は７回を終っても勝負つかず、結局タイブレークの特別延長試合となって、最終的にはセントラルパークスが勝利した。また、流山マリーンズ vs 大橋みどりファイターズ戦も同様に、3－３からのサドンデス試合となって、最後は流山マリーンズが特別延長回に３点を挙げ、その裏の大橋みどりファイターズの反撃を１点に抑えて勝利した。ちなみに、この２試合は各チームの実力が拮抗していて、それだけに内容的にも素晴らしく、大いに盛り上がった。

その他の６試合は、清水タイガース、松葉ニューセラミックス、豊上ジュニァーズ、常盤平ボイズ、光ヶ丘シャークス、柏ドリームスがそれぞれ大差で勝利してベスト８進出を決めた。

ベスト４進出を賭けた三日目は、雪の影響で５日間開催が延期となって、２月１０日（土）に漸く開催された。この日の対戦は野田河川敷グランドのＣ面とＤ面で各２試合ずつを行い、熱戦が展開された。各面の第一試合では、Ｄ面の光ヶ丘シャークス vs 柏ドリームスの柏勢同士の対決は、光ヶ丘シャークスの勢いが勝って圧勝したが、Ｃ面の豊上ジュニアーズ vs 常盤平ホーイズ戦は、豊上ジュニアーズが効果的な得点を挙げて快勝した。続いて行われた第二試合は、ともに１点を争う大接戦を展開したが、Ｃ面は松葉ニューセラミックスが清水タイガースを、Ｄ面はセントラルパークスが流山マリーンズをそれぞれ２－１の僅差で破って準決勝戦に駒を進めた。この

２試合もそれぞれ実力が互角で、緊張感の溢れる好試合だった。

この結果、最終日の２月１１日（日）にベスト４に進出したチームは、松葉ニューセラミックス、豊上ジュニアーズ、光ヶ丘シャークスの柏勢３チームと、松戸地区のセントラルパークスの各チームで、準決勝戦はＣ面で松葉ニューセラミックス vs 豊上ジュニアーズ戦、Ｄ面で光ヶ丘シャークス vs セントラルパークス戦が同時に開催された。

Ｃ面の松葉ニューセラミックス vs 豊上ジュニアーズ戦は、大会の初戦から好調で快進撃を続ける豊上ジュニアーズが、この試合も元気溌剌なプレーをみせて松葉ニューセラミックスを初回から圧倒して大差で快勝し、決勝戦に進出した。これに対してＤ面の光ヶ丘シャークスとセントラルパークスの一戦は、初回から両チームとも譲らず０－０の息詰まる大熱戦となり、結局７回を終っても勝負がつかず、決着は特別ルール適用のサドンデス試合に持ち越された。結果は特別回に１点を挙げた光が丘シャークスだったが、その裏セントラルパークスが２点を挙げて逆転勝ちして決勝戦に進出した。

かくして豊上ジュニアーズとセントラルパークスの決勝戦は、上記した準決勝戦に続いて三位決定戦と同時にＡＭ１１：３０から開催された。セントラルパークスが前半の２回と３回にそれぞれスクイズなどで得点して先行し、さらに５回にも四球で出塁した走者をバントで送った後に、効果的な攻撃で２点を追加して合計４点を挙げて主導権を握り、断然有利な展開を持続した。

これを追う豊上ジュニアーズは、最終回に懸命な反撃で２点を挽回したが、結局反撃はここまでで、あと２点のビハインドを挽回するまでには至らなかった。敗れた豊上ジュニアーズは、準決勝戦までは完璧な勝利を続けてきたが、この試合ではセントラルパークスに先行されて常に追う展開となり、反撃の開始が最終回となってちょっと遅かった。

優勝したセントラルパークスは、今大会は初戦（２回戦）から僅差の試合の連続で、常に緊張感一杯の厳しい試合を続けてきたが、その全てを確実に勝利に結びつけたのは見事だった。

なお、光ヶ丘シャークスと松葉ニューセラミックスの三位決定戦は、壮烈な戦いとなって大いに盛り上がった。光ヶ丘シャークスが３回に３点、４回に２点を挙げて先行すれば、松葉ニューセラミックスも追随して３回に２点、４回に１点を還して打撃戦を展開した。そして６回に両チーム１点ずつ取り合って、光ヶ丘シャークスが２点リードした展開で最終回に突入した。ここで松葉ニューセラミックスが奮起して一気に３点を奪って逆転サヨナラ勝ちは劇的だった。

終って見れば厳しい試合を全て勝利して栄冠に輝いたセントラルパークスの健闘は絶賛に値するが、それとは別にベスト４に入った柏地区３チームの活躍とレベルの高さは特筆される。

以下、最終日の成績を記す。

◆準決勝戦　Ｃ面

豊上ジュニアーズ	２	２	５	０		＝	９
松葉ニューセラミックス	０	１	２	０	コールド	＝	３

審判：球審・野沢（柏市少年野球連盟）　塁審・当番Ｅ－６（ありんこアントス）、八木澤（大会役員・柏市少年野球連盟）、当番Ｆ－６（光ヶ丘シャークス）

◆準決勝戦　Ｄ面

光ヶ丘シャークス	０	０	０	０	０	０	０	①	＝	１
セントラルパークス	０	０	０	０	０	０	０	②X	＝	２

審判：球審・内田（野田市少年野球連盟）　塁審・当番Ｇ－６（新和ヴィクトリー）、豊田（大会役員）、当番Ｈ－６（みさと団地ライオンズ）

◆三位決定戦　D面

光ヶ丘シャークス	0	0	3	2	0	1	0	＝	6
松葉ニューセラミックス	0	0	2	1	0	1	3X	＝	7

審判：球審・池（流山市少年野球連盟）　塁審・松本（大会役員）、小泉（大会役員）
当番Ｆ－６（江戸川台フェニックス）

◆決勝戦　Ｃ面

セントラルパークス	0	1	1	0	2	0	0	＝	4
豊上ジュニアーズ	0	0	0	0	0	0	2	＝	2

審判：球審・米倉（柏市少年野球連盟）　塁審・星本（柏市少年野球連盟）
高村（柏市少年野球連盟）、八木澤（大会役員・柏市少年野球連盟）





● 新 聞 掲 載 記 事 ●

平成30年2月28日号

ASA 子どもスポーツ新聞
朝日スポーツキッズ
THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"
毎月30日にASA(朝日新聞販売所)からお届けします
平成30年 2月28日号 No.280
配布／千葉県北西部8市
発行／朝日れすか編集室
〒277-0852 千葉県柏市旭町1-4-19-3F
[TEL]04(7143)4021[FAX]04(7143)3453
[URL]http://www.asa-kids.com/

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会

セントラルパークス 初V

第37回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会（朝日スポーツキッズなど後援）は2月11日、野田市の江戸川河川敷運動広場で決勝があり、セントラルパークス（松戸）が豊上ジュニアーズ（柏）を4―2で破り、初優勝を飾った。3位決定戦は、松葉ニューセラミックス（柏）が光ケ丘シャークス（柏）に7―6でサヨナラ勝ちした。

三回表に2点をリードしたセントラルパークスの鈴木陽大君をセンター1に回し、今大会初登板となる松田謙希君にマウンドを託したのだ。

この交代を鈴木君はどう受け止めたのか。「もっといけると思った。五回ぐらいからまた投げるつもりだった」。重信監督の考えは違っていた。「将来のある子どもたちを預かっている。無理はさせたくない」。鈴木君はこの日の準決勝でも先発し、5回を投げ切ったばかりだった。

重信監督は4年前から持ち上がりで、このチームを指導してきた。選手を信頼し、選手からも信頼されている。松田君は期待にこたえ、豊上の反撃を六回の2点に抑えて逃げ切った。

攻撃では、走者をバントで確実に送って点を取りにいく戦法を貫いた。犠打が5つあり、いずれも得点が入ったイニングに記録された。二回の先制点、三回の2点目はスクイズによる得点。五回の追加点も四球の走者をバントで送り、得点に結びつけた。

初の栄冠をつかむまでの道のりは平たんではなかった。決勝トーナメント初戦の野菊野ファイターズ（松戸）戦は2―2で特別延長（1死満塁から攻撃を始める）に入り、4―2で勝った。続く準々決勝の流山マリーンズ戦は2―1で辛勝。準決勝の光ケ丘シャークス戦は七回を終了して0―0。特別延長の末に2―1で勝利を収めた。

大会には東葛地区の5市と埼玉県三郷市から合わせて67チームが参加し、頂点をめざした。5年生以下の新チームによる初の公式戦でもある。すべてのチームが目標とする学童軟式野球全国大会出場へ向け、セントラルパークスが好スタートを切った。

	1	2	3	4	5	6	7	計
セントラルパークス（勝）	0	0	1	0	0	2	0	3
豊上ジュニアーズ（負）	0	1	0	0	2	0	1	4

▽決勝 セントラルパークス―豊上ジュニアーズ


五回表、セントラルパークス2死二塁。三盗を試みた宇田川琢磨君が捕手の悪送球で生還し、4点目をあげる


決勝で力投するセントラルパークスの鈴木陽大君


初優勝を飾ったセントラルパークスの選手たち





2018 CHAMPION

優　勝　セントラルパークス　-松戸-



準優勝　豊上ジュニアーズ　-柏-



第三位　松葉ニューセラミックス -柏-



第四位　光ヶ丘シャークス　-柏-

開会式

平成30年1月20日
於：野田河川敷グランド





整列する決勝大会進出の
ブロック2位までのチーム





前年度優勝チームから
優勝旗の返還







元気に選手宣誓



熱戦スナップ










CENTRAL


18


4
13


SHARKS
















HARKS























優勝!!セントラルパークス



喜びのセントラルパークスの選手達





受賞スナップ

平成30年2月11日
於 野田河川敷グランド



優勝：セントラルパークス



準優勝：豊上ジュニアーズ

第三位：松葉ニューセラミックス





ブロックリーグ戦　勝敗表

A block

順位		四小地区少年野球クラブ	大橋みどりファイターズ	八木南クラブ	豊四季イーグルス	新木野コンドル	山崎クーガーズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	四小地区少年野球クラブ（柏）		○ 7-4	○ 7-1	○ 13-2	○ 10-1	○ 11-0	5	5	0	0	10	48	8	40
2	大橋みどりファイターズ（松戸）	● 4-7		○ 5-2	○ 4-1	○ 13-0	○ 5-0	5	4	1	0	8	31	10	21
3	八木南クラブ（流山）	● 1-7	● 2-5		○ 10-1	○ 12-0	○ 11-0	5	3	2	0	6	36	13	23
4	豊四季イーグルス（柏）	● 2-13	● 1-4	● 1-10		○ 8-7	△ 8-8	5	1	3	1	3	20	42	△22
5	新木野コンドル（我孫子）	● 1-10	● 0-13	● 0-12	● 7-8		○ 8-7	5	1	4	0	2	16	50	△34
6	山崎クーガーズ（野田）	● 0-10	● 0-5	● 0-11	△ 8-8	● 7-8		5	0	4	1	1	15	43	△28

ブロックリーグ戦　勝敗表

B block

順位		柏ドリームス	根木内ヤングスターズ	カージナルス	北柏スーパーナイン	柳沢イーグルス	湖北フレンズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	柏ドリームス（柏）		○ 8-0	○ 10-7	○ 7-4	○ 10-0	○ 16-1	5	5	0	0	10	51	12	39
2	根木内ヤングスターズ（松戸）	● 0-8		○ 5-3	● 4-7	○ 8-0	○ 15-2	4	3	2	0	6	32	20	12
3	カージナルス（流山）	● 7-10	● 3-5		○ 9-6	○ 13-4	○ 10-5	5	3	2	0	6	42	30	12
4	北柏スーパーナイン（柏）	● 4-7	○ 7-4	● 6-9		○ 12-1	○ 4-2	4	3	2	0	6	34	23	11
5	柳沢イーグルス（野田）	● 0-10	● 0-8	● 4-13	● 1-12		○ 15-2	5	1	4	0	2	20	46	△26
6	湖北フレンズ（我孫子）	● 1-16	● 2-15	● 5-10	● 2-4	● 2-15		5	0	5	0	0	12	60	△48

ブロックリーグ戦　勝敗表

C block

順位		常盤平ボーイズ	野田ドンキーズ	柏ヤンガーズ	リトルジャガーズ	加岸ベァーズ	柏南ギャランツ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	常盤平ボーイズ（松戸）		○ 12-2	○ 10-3	○ 7-1	○ 13-1	○ 32-0	5	5	0	0	10	74	7	67
2	野田ドンキーズ（野田）	● 2-12		● 1-5	○ 10-8	○ 9-8	○ 13-0	5	3	2	0	6	35	33	2
3	柏ヤンガーズ（柏）	● 3-10	○ 5-1		△ 5-5	● 3-6	○ 8-2	5	2	2	1	5	24	24	0
4	リトルジャガーズ（我孫子）	● 1-7	● 8-10	△ 5-5		○ 6-4	○ 5-4	5	2	2	1	5	25	30	△5
5	加岸ベァーズ（流山）	● 1-13	● 8-9	○ 6-3	● 4-6		○ 14-2	5	2	3	0	4	33	33	0
6	柏南ギャランツ（柏）	● 0-32	● 0-13	● 2-8	● 4-5	● 2-14		5	0	5	0	0	8	72	△64

ブロックリーグ戦　勝敗表

D block

順位		スーパーフェニックス	松戸スラッガーズ	東深井ボーイズ	リトルイーグルス	野田ジャガーズ	トライスター	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	スーパーフェニックス（柏）		○ 6-5	○ 3-2	△ 7-7	● 2-3	○ 12-3	5	3	1	1	7	30	20	10
2	松戸スラッガーズ（松戸）	● 5-6		○ 5-2	● 2-3	○ 6-3	○ 4-3	5	3	2	0	6	22	17	5
3	東深井ボーイズ（流山）	● 2-3	● 2-5		○ 6-4	○ 10-4	○ 3-2	5	3	2	0	6	23	18	5
4	リトルイーグルス（我孫子）	△ 7-7	○ 3-2	● 4-6		△ 5-5	△ 5-5	5	1	1	3	5	24	25	△1
5	野田ジャガーズ（野田）	○ 3-2	● 3-6	● 4-10	△ 5-5		△ 1-1	5	1	2	2	4	16	24	△8
6	トライスター（柏）	● 3-12	● 3-4	● 2-3	△ 5-5	△ 1-1		5	0	3	2	1	14	25	11

ブロックリーグ戦　勝敗表

E block

順位		松葉ニューセラミックス	流山マリーンズ	高野台ジャガーズ	リトルキング	小金原ビクトリー	ありんこアントス	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	松葉ニューセラミックス（柏）		△ 2-2	○ 5-4	○ 2-1	○ 9-0	○ 8-0	5	4	0	1	9	26	7	19
2	流山マリーンズ（流山）	△ 2-2		○ 6-0	○ 9-4	● 0-3	○ 12-1	5	3	1	1	7	29	10	19
3	高野台ジャガーズ（柏）	● 4-5	● 0-6		○ 6-3	○ 9-5	○ 20-0	5	3	2	0	6	39	19	20
4	リトルキング（我孫子）	● 1-2	● 4-9	● 3-6		○ 4-2	○ 7-2	5	2	3	0	4	19	21	△2
5	小金原ビクトリー（松戸）	● 0-9	○ 3-0	● 5-9	● 2-4		○ 8-1	5	2	3	0	4	18	23	△5
6	ありんこアントス（流山）	● 0-8	● 1-12	● 0-20	● 2-7	● 1-8		5	0	5	0	0	4	55	△51

ブロックリーグ戦　勝敗表

F block

順位		野菊野ファイターズ	光ヶ丘シャークス	サンスパッツ	加賀シャトルズ	向小金ファイターズ	長崎FLB	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	野菊野ファイターズ（松戸）		○ 14-1	△ 3-3	○ 18-0	○ 13-0	○ 20-3	5	4	0	1	9	68	7	61
2	光ヶ丘シャークス（柏）	● 1-14		○ 6-5	○ 8-1	○ 11-1	○ 10-2	5	4	1	0	8	36	23	13
3	サンスパッツ（我孫子）	△ 3-3	● 5-6		○ 11-6	○ 7-6	○ 19-0	5	3	1	1	7	45	21	24
4	加賀シャトルズ（柏）	● 0-18	● 1-8	● 6-11		○ 8-7	○ 11-10	5	2	3	0	4	26	54	△28
5	向小金ファイターズ（流山）	● 0-13	● 1-11	● 6-7	● 7-8		○ 9-7	5	1	4	0	2	23	46	△23
6	長崎FLB（流山）	● 3-20	● 2-10	● 0-19	● 10-11	● 7-9		5	0	5	0	0	22	69	△47

ブロックリーグ戦　勝敗表

G block

順位		西新田子ども会	前ヶ崎クラブ	名戸ヶ谷アトミック	新和ヴィクトリー	新木ファイターズ	小田急ライオンズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	西新田子ども会（野田）		○ 7-3	○ 4-2	○ 13-0			3	3	0	0	6	24	5	19
2	前ヶ崎クラブ（流山）	● 3-7		○ 14-0	○ 5-2			3	2	1	0	4	22	9	13
3	名戸ヶ谷アトミック（柏）	● 2-4	● 0-14		○ 10-6			3	1	2	0	2	12	24	△12
4	新和ヴィクトリー（三郷）	● 0-13	● 2-5	● 6-10				3	0	3	0	0	8	28	△20
	新木ファイターズ（我孫子）														
	小田急ライオンズ（流山）														

（注）新木ファイターズと小田急ライオンズは棄権

ブロックリーグ戦　勝敗表

H block

順位		清水タイガース	新柏ツインズ	ブラックバード	鰭ヶ崎ジュニアフィンズ	みさと団地ライオンズ	GBC流山	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	清水タイガース（野田）		○ 9-1	○ 11-5	○ 25-0	○ 9-4	○ 24-0	5	5	0	0	10	78	10	68
2	新柏ツインズ（柏）	● 1-9		○ 5-4	○ 6-4	○ 6-1	○ 13-0	5	4	1	0	8	31	18	13
3	ブラックバード（我孫子）	● 5-11	● 4-5		○ 11-5	△ 7-7	○ 20-9	5	2	2	1	5	47	37	10
4	鰭ヶ崎ジュニアフィンズ（流山）	● 0-25	● 4-6	● 5-11		○ 6-4	○ 9-0	5	2	3	0	4	24	46	△22
5	みさと団地ライオンズ（三郷）	● 4-9	● 1-6	△ 7-7	● 4-6		○ 22-0	5	1	3	1	3	38	28	10
6	GBC流山（流山）	● 0-24	● 0-13	● 9-20	● 0-9	● 0-22		5	0	5	0	0	9	88	△79

ブロックリーグ戦　勝敗表

I block

順位		江戸川台フェニックス	藤心ジャガーズ	双葉	南部ルーキーズ	流山シャークス	柏ボーイング	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	江戸川台フェニックス（流山）		○ 8-3	○ 18-0	○ 6-3	○ 17-0	○ 17-5	5	5	0	0	10	66	11	55
2	藤心ジャガーズ（柏）	● 3-8		○ 5-2	○ 25-1	○ 29-7	○ 20-3	5	4	1	0	8	82	21	61
3	双葉（松戸）	● 0-18	● 2-5		○ 11-1	○ 21-2	○ 23-0	5	3	2	0	6	57	26	31
4	南部ルーキーズ（野田）	● 3-6	● 1-25	● 1-11		○ 10-4	○ 23-3	5	2	3	0	4	38	49	△11
5	流山シャークス（流山）	● 0-17	● 7-29	● 2-21	● 4-10		○ 10-3	5	1	4	0	2	23	80	△57
6	柏ボーイング（柏）	● 5-17	● 3-20	● 0-23	● 3-23	● 3-10		5	0	5	0	0	14	93	△79

ブロックリーグ戦　勝敗表

J block

順位		増尾レッドスターズ	流山ホークス	五香メッツ	柏ビクトリー	中根ヤンキース	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	増尾レッドスターズ（柏）		△ 6-6	○ 7-1	○ 7-1	○ 20-0	4	3	0	1	7	40	8	32
2	流山ホークス（流山）	△ 6-6		○ 7-3	○ 9-5	○ 17-1	4	3	0	1	7	39	15	24
3	五香メッツ（松戸）	● 1-7	● 3-7		○ 4-3	○ 25-2	4	2	2	0	4	33	19	14
4	柏ビクトリー（柏）	● 1-7	● 5-9	● 3-4		○ 10-6	4	1	3	0	2	19	26	△7
5	中根ヤンキース（野田）	● 0-20	● 1-17	● 2-25	● 6-10		4	0	4	0	0	9	72	△63

ブロックリーグ戦　勝敗表

K block

順位		セントラルパークス	千代田ファイターズ	南流ファイターズ	上町少年野球部	若草	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	セントラルパークス（松戸）		○ 9-0	○ 16-0	○ 12-1	○ 22-0	4	4	0	0	8	59	1	58
2	千代田ファイターズ（柏）	● 0-9		○ 6-3	△ 9-9	○ 9-5	4	2	1	1	5	24	26	△2
3	南流ファイターズ（流山）	● 0-16	● 3-6		○ 8-3	○ 10-1	4	2	2	0	4	21	26	△5
4	上町少年野球部（野田）	● 1-12	△ 9-9	● 3-8		○ 15-2	4	1	2	1	3	28	31	△3
5	若草（柏）	● 0-22	● 5-9	● 1-10	● 2-15		4	0	4	0	0	8	56	△48

ブロックリーグ戦　勝敗表

L block

順位		豊上ジュニアーズ	高塚新田ラークス	沼南ファイヤーズ	野田ロッキーズ	初石クーガーズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	豊上ジュニアーズ（柏）		○ 20-4	○ 3-0	○ 9-0	○ 34-0	4	4	0	0	8	66	4	62
2	高塚新田ラークス（松戸）	● 4-20		○ 3-2	○ 12-11	● 5-6	4	2	2	0	4	24	39	△15
3	沼南ファイヤーズ（柏）	● 0-3	● 2-3		△ 4-4	○ 8-2	4	1	2	1	3	14	12	2
4	野田ロッキーズ（野田）	● 0-9	● 11-12	△ 4-4		○ 12-8	4	1	2	1	3	27	33	△6
5	初石クーガーズ（柏）	● 0-34	○ 6-5	● 2-8	● 8-12		4	1	3	0	2	16	59	△43

★ブロックリーグ戦 概評★

◆Aブロック

四小地区少年野球クラブが５戦全勝で文句なしの首位。注目は決勝大会への出場権を賭けて対決した大橋みどりファイターズと八木南クラブの２位争い。大橋みどりファイターズが勝って４勝１敗の成績で決勝大会進出を決めたが、敗れた八木南クラブにとってはこのこの敗戦が全てだった。

４位豊四季イーグルス以下は、決勝大会進出とは関係ない成績で争ったが、最下位となった山崎クーガーズも４位の豊四季イーグルスに引き分けるなど、それなりに頑張った。

◆Bブロック

柏ドリームスが安定した実力を発揮して５戦全勝で首位を決めた。熾烈を極めたのが２位争いで、最終的には根木内ヤングスターズ、カージナルス、北柏スーパーナインの３チームが３勝２敗の同成績となり、しかも星の潰しあいにより三つ巴となったため、順位は得失点差による決着となった。

この結果、根木内ヤングスターズとカージナルスは１２点で同点となったが、直接対決で勝利している根木内ヤングスターズが上位となって、決勝大会への出場権を確保した。

敗れたカージナルスは、根木内ヤングスターズとの直接対決での敗戦が痛恨だったが、それ以上に残念だったのが、一時は３チームの中で最も優位にあった北柏スーパーナインで、得失点差１１点で最終的には順位は４位となってしまった。なお、この３チームの実力は互角だった。

◆Cブロック

常盤平ボーイズが５戦全勝、しかも全て大差勝ちでダントツの首位。ちなみに、同チームが５試合で挙げた総得点７４点（１試合平均１４．８点）は、Ｉブロック藤心ジャガーズの８２点、Ｈブロック清水タイガースの７８点に次ぐ高記録で、総失点７（１試合平均 1．４点）はＥブロック松葉ニューセラミックス、Ｆブロック野菊野ファイターズの各７点と並ぶ５試合での最少記録。

２位争いは、野田ドンキーズと柏ヤンガース、リトルジャガーズの３チームで大激戦を展開した。最終的には勝ち数３を挙げた野田ドンキーズが確保した。柏ヤンガースとリトルジャガーズは直接対決で引き分けたため、最終的にはこの差が響いてともに野田ドンキーズに半歩及ばなかった。このうち柏ヤンガースは、野田ジャガースには対戦勝利していただけに、引分けは痛恨の極みだった。

◆Dブロック

全リーグ戦で最も熾烈な激戦を展開したブロック。３勝１引分け１敗で最終的に首位となったスーパーフェニックスは、２位となった松戸スラッガーズが下位のリトルイーグルスに敗れて３勝２敗となったことで、リトルイーグルスとの引分け分（勝ち点１）だけ上回って首位となった。

惜しかったのは３勝２敗で松戸スラッガーズと同成績となった東深井ボーイズだが、松戸スラッカーズ戦の敗戦はともかく、スーパーフェニックス戦の惜敗が痛かった。

１勝３引分け１敗で４位に甘んじたリトルイーグルスは、３引分けが致命傷となったが、５位の野田ジャガーズと６位のトライスターも大健闘して、このブロックの戦いは最も活気があった。

◆Ｅブロツク

松葉ニューセラミックスが２位となった流山マリーンズと引き分けたものの、他の４試合を勝利したことで４勝１引分けの成績で首位となった。

２位は下位の小金原ビクトリーに苦杯を舐めた流山マリーンズが、３勝２敗で３位となった高野台ジャガーズと引分け一つ上回った差で確保した。

惜しかったのは３位となった高野台ジャガーズで、上位２チームに対する敗戦が致命傷となったが、とりわけ首位の松葉ニューセラミックス戦の惜敗が残念だった。

◆Ｆブロック

野菊野ファイターズが３位のサンスパッツと引き分けて４勝１引分けの成績ながら、２位の光ヶ丘シャークスとの直接対決に勝利したことて首位となった。ちなみに、同チームは攻守のバランスが良く、とくにデフェンス面は強固で、リーグ戦５試合での総失点７点（１試合平均１．４点）は、Ｃブロック常盤平ボーイズ、Ｅブロック松葉ニューセラミックスと並びリーグ戦全体での最少記録。

２位光ヶ丘シャークスは、野菊野ファイターズに敗れただけの４勝１敗で、決勝大会への進出権を獲得した。３位のサンスパッツは、首位の野菊野ファイターズと引分け、光ヶ丘シャークスとの直接対決では惜敗だっただけに無念だったが、実力的には上位２チームとは遜色無かった。

◆Ｇブロック

大会が始まってから、新木ファイターズと小田急ライオンズが都合で棄権したため、４チームによるリーグ戦となった。結果は、西新田子ども会が安定した戦いぶりで３戦全勝首位となり、２位は名戸ヶ谷アトミックに大勝した前ヶ崎クラブが、２勝１敗の成績で確保した。

◆Ｈブロック

清水タイガースの実力が突出していて５戦全て圧勝で、文句なしの首位を決めた。同チームはとくに攻撃力が素晴らしく、５試合での総得点６８点（１試合平均１３．６点）は、Ｉブロックの藤心ジャースの８２点に次ぐリーグ戦全体での二番目に多い記録。

次位は新柏ツインズとブラックバードの争いとなったが、ブラックバードに接戦勝ちした新柏ツインズが４勝１敗の成績で２位となり、決勝大会への進出権を獲得した。逆にこの１敗でブラックバードは３位に沈んで無念の涙を飲んだ。

◆Ｉブロック

５戦全勝で首位となった江戸川台フェニックス、４勝１敗で２位の藤心ジャガーズ、以下順位は勝ち星一つの差で決まった。このうち２位となった藤心ジャガーズが、４位以下の３チームとの対戦でそれぞれ２０点以上を奪って大勝したこともあって、リーグ戦５試合での総得点が８２点（１試合平均１６．４点）のリーグ戦ＮＯ．１の快記録を樹立した。

３位双葉以下の４チームは、記録から判断して上位２チームとは実力差がかなりあった感じ。

◆Ｊブロック

このブロックから５チーム編成でのリーグ戦となった。増尾レッドスターズと流山ホークスが直接対決で引き分けたが、残り３試合をそれぞれ全勝したため、最終的には両チームが３勝１引分けの同成績となった。この結果、順位の決定は得失点差での決着となり、増尾レッドスターズが首位、流山ホークスが２位となった。

実質的にはこの２チームによるマッチレースで、３位五香メッツ以下の試合は、さながら消化試合の感じになってしまった。

◆Ｋブロック

セントラルパークスが４戦全勝で、内容も濃く全てに完璧な成績を挙げた。４試合での総失点が僅か１点に対して、総得点５９点（１試合平均１４．８点）がそれを充分証明している。

２勝１引き分け１敗で２位の千代田ファイターズは、４位上町少年野球部との引分けはあったが、南流ファイターズとの直接対決で勝ったことで、決勝大会への進出権を獲得した。

◆Ｌブロック

豊上ジュニアーズの実力が抜けていて、同チームの一人舞台に終ったブロック。同チームが４試合で挙げた総得点６６点（１試合平均１６．５点）はリーグ戦全体での最高記録で、総失点４点（１試合平均１点）は、Ｋブロックのセントラルパークスの１点に次く最少記録。

興味は２位争いに絞られ、最終的には２勝２敗の高塚新田ラークスが掌中にしたが、この成績は決勝大会進出権を得るにはちょっと物足りなさを感じさせた。

☆リーグ戦ベスト

（注）（　）内の記号はブロック

◎総得点ベスト

①(Ｉ)藤心ジャガーズ　８２点　②(H)清水タイガース　７８点　③(C)常盤平ボーイズ　７４点

◎総失点ベスト

①(K)セントラルパークス　１点　②(C)常盤平ボーイズ　(E)松葉ニューセラミックス　(F)野菊野ファィターズ　各７点

◎得失点差ベスト

①(H)清水タイガース　６８点　②(C)常盤平ボーイズ　６７点　③(L)豊上ジュニァーズ　６２点



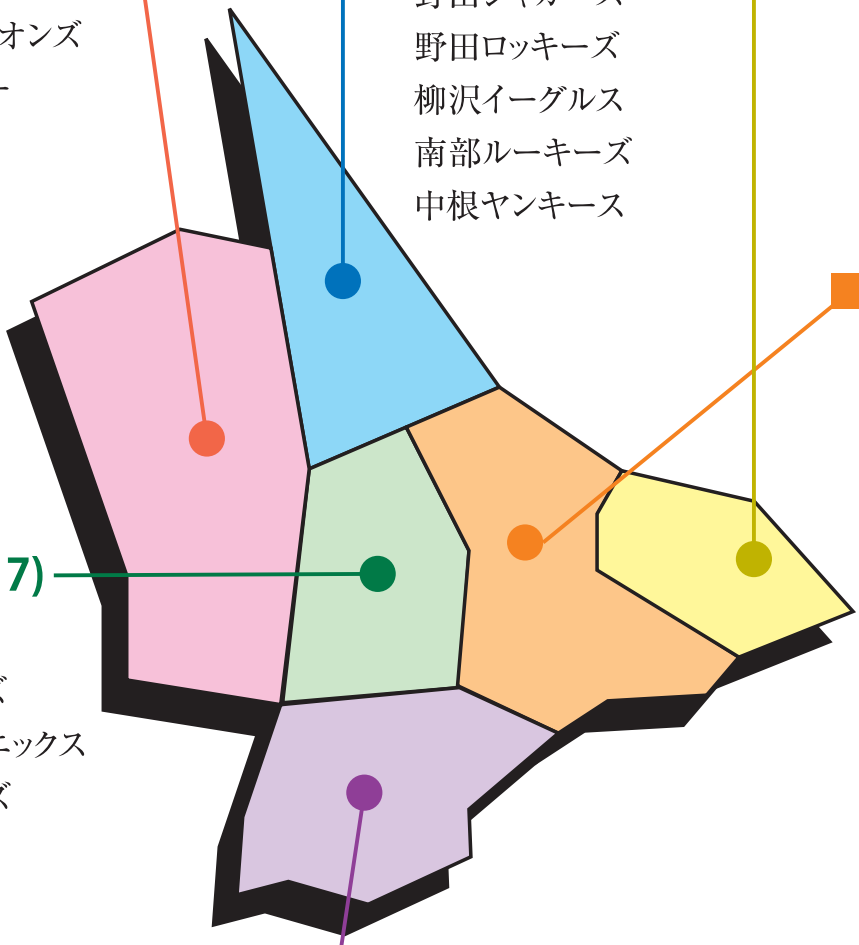


カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会　歴代ベスト3

回数	開催年度	出場チーム数	優　勝	準優勝	第三位
1	昭和57年 1982	15	リアノス（柏）	伊勢原ジャガーズ（柏）	カージナルス（流山）
2	昭和58年 1983	28	初石クーガーズ（流山）	伊勢原ジャガーズ（柏）	リアノス（柏）
3	昭和59年 1984	28	千代田ファイターズ（柏）	つくしが丘ファイブス（柏）	江戸川台アトラス（流山）
4	昭和60年 1985	36	松葉ニューセラミックス（柏）	ありんこアントス（流山）	つくしが丘ファイブス（柏）
5	昭和61年 1986	36	リアノス（柏）	増尾レッドスターズ（柏）	加岸クラブ（流山）
6	昭和62年 1987	42	増尾レッドスターズ（柏）	向小金ファイターズ（流山）	名戸ヶ谷アトミック（柏）
7	昭和63年 1988	42	千代田ファイターズ（柏）	増尾クラブ（柏）	名戸ヶ谷ウォリアーズ（柏）
8	平成元年 1989	47	松葉ニューセラミックス（柏）	西山イーグルス（柏）	つくしが丘ファイブス（柏）
9	平成2年 1990	48	柏ヤンガーズ（柏）	ありんこアントス（流山）	光団ファイターズ（柏）
10	平成3年 1991	48	ありんこアントス（流山）	増尾レッドスターズ（柏）	名戸ヶ谷アトミック（柏）
11	平成4年 1992	50	千代田ファイターズ（柏）	増尾クラブ（柏）	つくしが丘ファイブス（柏）
12	平成5年 1993	56	千代田ファイターズ（柏）	高野台ジャガーズ（柏）	トライスター（柏）
13	平成6年 1994	55	西山イーグルス（柏）	泉ライオンズ（流山）	ありんこアントス（流山）
14	平成7年 1995	54	ありんこアントス（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	梅郷パワーズ（野田）
15	平成8年 1996	51	高野台ジャガーズ（柏）	梅郷パワーズ（柏）	トライスター（柏）
16	平成9年 1997	48	前ヶ崎クラブA（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	清水タイガース（野田）
17	平成10年 1998	54	松葉ニューセラミックス（柏）	千代田ファイターズ（柏）	豊四季イーグルス（柏）
18	平成11年 1999	54	千代田ファイターズ（柏）	清水タイガース（野田）	八景台ジュニアーズ（松戸）
19	平成12年 2000	57	千代田ファイターズ（柏）	牧の原ジュニアーズ（松戸）	向小金ファイターズ（流山）
20	平成13年 2001	56	千代田ファイターズ（柏）	松葉ニューセラミックス（柏）	前ヶ崎クラブ（流山）
21	平成14年 2002	59	千代田ファイターズ（柏）	串崎スワローズ（松戸）	セントラルパークス（松戸）
22	平成15年 2003	61	長崎FLB（流山）	大津が丘ファイターズ（柏）	高野台ジャガーズ（柏）
23	平成16年 2004	64	松葉ニューセラミックス（柏）	高野台ジャガーズ（柏）	久寺家エラーズ（我孫子）
24	平成17年 2005	72	初石クーガーズ（流山）	東深井ファイナルズ（流山）	加岸ベアーズ（流山）
25	平成18年 2006	81	加岸ベアーズ（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	加賀シャトルズ（柏）
26	平成19年 2007	90	千代田ファイターズ（柏）	加岸ベアーズ（流山）	松葉ニューセラミックス（柏）
27	平成20年 2008	80	串崎スワローズ（松戸）	松葉ニューセラミックス（柏）	柏ビクトリー（柏）
28	平成21年 2009	76	野田ドンキーズ（野田）	セントラルパークス（松戸）	串崎スワローズ（松戸）
29	平成22年 2010	82	初石クーガーズ（流山）	カージナルス（流山）	高野台ジャガーズ（柏） 常盤平ボーイズ（柏）
30	平成23年 2011	78	高野台ジャガーズ（柏）	加岸ベアーズ（流山）	豊上ジュニアーズ（柏） 流山ホークス（流山）
31	平成24年 2012	81	高野台ジャガーズ（柏）	カージナルス（流山）	江戸川台フェニックス（流山）
32	平成25年 2013	72	高野台ジャガーズ（柏）	豊上ジュニアーズ（柏）	セントラルパークス（松戸）
33	平成26年 2014	72	※悪天候等の影響により、決勝大会は中止。各ブロック1位・2位の表彰をもって終幕。		
34	平成27年 2015	68	流山マリーンズ（流山）	カージナルス（流山）	柏ドリームス（柏）
35	平成28年 2016	71	松戸スラッガーズ（松戸）	野菊野ファイターズ（松戸）	三郷スターズ（三郷）
36	平成29年 2017	64	リトルジャガーズ（我孫子）	南部ルーキーズ（野田）	長崎FLB（流山）
37	平成30年 2018	69	セントラルパークス（松戸）	豊上ジュニアーズ（柏）	松葉ニューセラミックス（柏）

（注）第29回と第30回大会は、三位決定戦を行わず2チーム同成績

第37回 カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 出場チーム



■野田地区(10)

野田ドンキーズ
清水タイガース
上町少年野球部
西新田子ども会
山崎クーガーズ
野田ジャガーズ
野田ロッキーズ
柳沢イーグルス
南部ルーキーズ
中根ヤンキース

■我孫子地区(8)

ブラックバード
リトルジャガーズ
リトルイーグルス
湖北フレンズ
リトルキング
新木ファイターズ
新木野コンドル
サンスパッツ

■三郷地区(2)

みさと団地ライオンズ
新和ヴィクトリー

■柏地区(22)

加賀シャトルズ
豊上ジュニアーズ
藤心ジャガーズ
増尾レッドスターズ
光ヶ丘シャークス
豊四季イーグルス
北柏スーパーナイン
柏ドリームス
柏ボーイング
四小地区少年野球クラブ
沼南ファイヤーズ
高野台ジャガーズ
千代田ファイターズ
トライスター
松葉ニューセラミックス
新柏ツインズ
柏ヤンガーズ
柏南ギャランツ
スーパーフェニックス
名戸ヶ谷アトミック
柏ビクトリー
若草

■流山地区(17)

流山マリーンズ
初石クーガーズ
江戸川台フェニックス
東深井ボーイズ
長崎FLB
カージナルス
加岸ベアーズ
流山ホークス
小田急ライオンズ
南流ファイターズ
前ヶ崎クラブ
ありんこアントス
八木南クラブ
向小金ファイターズ
鰭ケ崎ジュニアフィンズ
GBC流山
流山シャークス

■松戸地区(10)

常盤平ボーイズ
小金原ビクトリー
根木内ヤングスターズ
双葉
セントラルパークス
野菊野ファイターズ
五香メッツ
松戸スラッガーズ
高塚新田ラークス
大橋みどりファイターズ

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会　開催要項

（平成29年一部改正）

主催・主管　カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会運営委員会
共　　催　柏市・流山市・野田市・松戸市　各少年野球連盟
後　　援　株式会社カリフ・柏食品株式会社　　ダイワマルエス株式会社
　　株式会社共同写真企画　　流山ボーイズ　　朝日スポーツキッズ

開催期間　ブロックリーグ戦
　原則として抽選会以降の１０月から翌年1月中旬頃までに終了させる。
　決勝トーナメント大会
　翌年１月下旬から２月中旬までの土・日曜日・祝日に開催（雨天順延）

開催方法　・出場資格は５年生以下の新チームとする。
・全日本軟式野球連盟（少年野球）規則及び千葉県、各市内大会の規則に準ずる。
・参加チームを複数のブロックに分け、それぞれ総当りのリーグ戦によって上位２チームまでが決勝トーナメント大会に出場出来る。なお、１ブロックの構成は５～８チームをベースとする。
・試合方法は全試合７回の時間制とし、試合時間はシートノックを除き正味１時間３０分。シートノックは５分以内とする。
・試合の終了は、３アウト目が主審の時計で１分を切っている場合は試合終了。１分以上の残り時間がある場合は次の回に入る。但し、７回までとする。
・リーグ戦での得点によるコールドゲームはなく、全て７回または時間制。７回終了及び時間に達しても勝負がつかない場合は引き分け。なお、リーグ戦では時間内の延長戦と特別ルールの適用は行わない。
・但し、決勝トーナメント大会は、決勝戦を除いた全試合にコールドゲーム（３回以降１０点差、５回以降７点差）制が適用される。同点で勝負がつかない場合は、特別ルール（一死走者満塁、打者は前回の最終打者の次打者、走者は最終打者を含め遡って３名）を適用する。
・決勝戦のみコールドゲームは用いないが、回数は７回または規定時間までとする。同点の場合は特別ルールを適用（２回まで）するが、それでも勝負がつかない時は抽選によって勝敗を決める。
・決勝大会がダブルになった場合の第一試合で、７回終了時点で勝負がつかない場合は、特別ルール（上記参照）を適用して勝敗を決める。７回終了以前で規定時間に達した場合も同様とする。
・投手の一試合での投球回数を５回、１５アウトまでとし、さらに一日の投球回数は１０回３０アウトまでとする。
・ベンチは若番が一塁側とし、先攻・後攻はジャンケンで決める。

順位基準　リーグ戦で同成績の場合は対戦勝利チームが上位。三つ巴になった場合は、得失点差の最も多いチームが最上位。得失点差が同じ場合は総失点の少ないチームが上位。
但し、三つ巴でも不戦敗がある場合は、当該チームがたとえ得失点差で上回っても、順位は３チームの中では最下位となる。
なお、リーグ戦の成績は平成２５年度より従来の勝率制を廃止して、勝点制に改正した。勝点は勝利２点、引き分け１点、敗戦０点とする。

日程編成　リーグ戦の日程は各ブロックごとに決め、グランドも同時に確保する。雨天中止などで日程の消化がズレ込んだ場合は、決勝トーナメント大会出場可能チームの日程を最優先して消化に努める。他の大会と掛け持ちのチームは、あくまでも当大会の日程消化を優先させる。
負けが込んで試合消化に意欲を失ったチームの日程消化遅延、及び試合打ち切りなどについては、とくにやむを得ない事情以外は認めない。この場合、その程度如何によっては、不戦敗（得点は０－１０）または次回からの出場停止処分の対象となるので注意して下さい。
当大会は新人の研修大会でもあり、出場チームは経験を積むためと地域交流を図る意味でも大切ですので、積極的に試合を行うよう努めて下さい。

ブロック長　ブロック長はブロックリーグ戦の運営については、全ての責任と権限を有する。リーグ戦の参加チームが、日程の編成をブロック長に一任した場合は、理由の如何を問わず必ずその決定に従う。不履行並びに日程消化に支障を来たすような行為をした場合は、当該チームは棄権（不戦敗扱いでスコアは０－１０）とみなして勧告し、その行為を２回以上犯した場合は、自動的に失格（以降の試合は出来ない）とする。
ブロック長は、大会期間中は実行委員も兼務し、大会の円滑な運営に注力する。リーグ戦については、試合の消化状況や結果を常に掌握して、一定期間内に事務局に報告することを義務付ける。

審判当番　リーグ戦については、各ブロック内で話し合って決める。他の大会との掛け持ちなどで当日の審判が出来ない場合は、その旨必ず了解を取り、後日その分を埋め合わせする。無断で不履行した場合は、当該チームは失格の対象となるので注意して下さい。
決勝トーナメント大会には、各ブロック内で決勝大会に出場出来なかったチームに、一度は審判当番（１名以上）が義務付けられます。審判当番者の服装については、無帽、サンダル履きは厳禁です。なお、決勝トーナメント大会の審判当番者には、一名につき５００円の食事代が支給されます。
決勝トーナメント大会の審判当番を不履行した場合でも、ペナルティ（次回からの出場停止ほか）の対象となりますので注意して下さい。

大会参加費　１チーム　５，０００円（抽選会の時に会計に納入して下さい）

記　　録　事務局（事業部）及びブロック長は、各ブロックリーグ戦のデータを常に掌握しておく。また、当該ブロックの試合結果などはその週のうちに下記まで報告して下さい。

平田宗久　ＴＥＬ／ＦＡＸ　０４－７１５５－４０５２（ＦＡＸにて）
小泉博康　ＴＥＬ／ＦＡＸ　０４－７１５４－８５２９（ＦＡＸにて）
（注）ホームページに掲載します
ＨＰ　ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ１３．ｐｌａｌａ．ｏｒ．Ｊｐ／ｎｎｂｂ／
「流山市少年野球連盟北部地区」　カリフ大会の項目に書き込み

参加チーム　抽選会（毎年１０月中旬から１１月初旬に開催）に出席を持って決定する。なお、当大会の抽選会には、当該チームの関係者が必ず出席することが義務付けられています。他チームへの委託及び代理は、この大会に限っては一切認められません。抽選会の後ブロック内での打ち合わせがありますので、チームの代表者、監督、コーチ、マネージャーなど詳しく予定の把握できる人の出席をお願いします。この点はくれぐれも注意してください。

開　会　式　決勝トーナメント大会の出場チームだけによって行うこととする。開始は原則としてＡＭ９：００も、出場チームはＡＭ８：３０までに受付を済ませる。他の大会との掛け持ちの場合でも、開会式には若干名の出場を義務付けます。また、前回の受賞チームで決勝トーナメント大会に出場出来ないチームでも、優勝旗、準優勝杯などの返還があるため、若干名は必ず出場する。なお、開会式には出場各チームの撮影があるため、プラカードは各チームで必ず持参して下さい。団旗の持込みも大歓迎です。開会式には出場チームの指導者はユニフォームを着用して、必ず最後尾に参列して下さい。

付記事項　①選手及び指導者（監督及びコーチ２名）は、ユニフォームの着用を義務付ける。但し、代表者、スコアラーはこの限りではない。ベンチ入りの指導者は５名まで。選手と指導者のユニフォームには必ず背番号をつけ、主将は１０番、監督は３０番、コーチは２８番と２９番とする。
②ユニフォーム着用の指導者は、ランナーコーチに立つことが出来る。
③選手及び指導者は必ず帽子を着用する。金属のついたスパイクは禁止。ヘルメットは打者、走者、次打者、ランナーコーチ（選手）ともに着用する。捕手は試合時、練習時にかかわらずマスク、ヘルメット、レガースを必ず着用する。控え捕手についても同様とする。
④冬期間の大会でもあり、審判員及び大会役員が認めた場合に限り、試合中にジャンパー、グランドコートの着用が許される。
⑤応援者の汚い野次や言動に対しては、大会役員及び当該審判員は直ちに注意を促し、改まらない場合は退場させる権限を持つ。
⑥指導者は選手の健康管理には十分気をつける。試合中の怪我や病気については、基本的には当該チームで対処し、応急処置を施してください。
⑦リーグ戦及び決勝トーナメント大会に於いては、各チームは積極的にグランド整備や試合の準備に協力して下さい。
⑧グランドでの駐車については、所定の場所以外は他人の迷惑となりますので、とくに注意してください。なお、本会場では、出場各チームは本部役員駐車場には駐車はご遠慮ください。

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会役員（H28/1 改選）

会長	山田晃一	東葛地区親睦少年野球大会会長
副会長	青木誠	野田市少年野球連盟会長
〃	金丸正孝	柏市少年野球連盟元会長
〃	平田宗久	流山市少年野球連盟役員
運営委員長・会計兼務		
運営副委員長	加納貞夫	野田市少年野球連盟役員
審判部部長兼務		
事業部長(事務局総括)	小泉博康	流山市少年野球連盟役員
事業部副部長	大割健夫	柏市少年野球連盟役員
審判部副部長	松本秀樹	流山市・江戸川台フェニックス
審判部副部長	藤井豊務	柏市少年野球連盟役員
〃	＊川口裕司	松戸市少年野球連盟役員
運営委員（事業部担当）		
〃	豊田穣	流山市少年野球連盟役員
〃	柴田清光	松戸市少年野球連盟役員
〃	鈴木三郎	柏市少年野球連盟役員
〃	＊八鍬昌次	流山市少年野球連盟役員
〃 監査役兼務	今野正博	野田市少年野球連盟役員
運営委員（審判部担当）		
〃	渋谷重雄	流山市少年野球連盟役員
〃	西ケ迫勝宏	流山市少年野球連盟役員
〃	梅田敦司	流山市少年野球連盟役員
〃	堀江速人	野田市少年野球連盟役員
〃	岡野誉	野田市少年野球連盟役員
〃	湯本秀次	野田市少年野球連盟役員
〃	内田欽也	野田市少年野球連盟役員
〃	八木澤巌	柏市少年野球連盟役員
〃	吉田繁	柏市少年野球連盟役員
〃	濱田健	柏市・松葉ニューセラミックス
〃	桑名裕介	松戸市少年野球連盟役員
〃	居倉諭	松戸市少年野球連盟役員
〃	吉岡貴明	松戸市少年野球連盟役員
顧問	善積信夫	ダイワマルエス（株）東京営業所長

(注) ＊印は非常勤

第37回大会収支明細

収入の部

大会参加費	@5000×69チーム	345,000
ボール販売手数料		16,000
前回大会繰越金		46,768
収入合計		407,768

支出の部

大会運営費		79,060
	決勝トーナメント用ボール代	34,560
	審判手当(69名×500円)	34,500
	役員	10,000
賞状・トロフィー代		98,333
	賞状	20,000
	トロフィー代	78,333
資料代（冊子データ処理）		120,000
	編集代	20,000
	冊子（データ処理）	80,000
	冊子プリント代	20,000
事務経費		4,920
	抽選会会場代	2,460
	決勝トーナメント抽選会	2,460
会議費		35,000
	打合せ会議費（ブロック）	20,000
	打合せ会議費（決勝トーナメント）	15,000
支出合計		337,313

※打合せ会議費の中に大会期間中の昼食を含んであります

※収入　407,768円ー支出　337,313円＝　70,455円　は、第38回大会へ繰り越します。

会計担当　　小泉博康

小泉会計担当から提示されました、平成29年度柏流さよなら大会の会計帳簿および収支決算書につきまして、
帳簿並びに関係証票書類に基づき監査の結果、会計基準に則り適正に処理されているものと認めます。　平成30年4月17日

会計監査担当
今野 正博

MEMO

Forever Glory Days!



嬉しい顔も
悔しい顔も
君のプレーを
アルバムに、パネルに！

全日本軟式野球連盟指定・各種競技団体指定

株式会社 共同写真企画

OSAKA TOKYO NAGOYA FUKUOKA

東京支社：〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-27-7（軟式野球会館）　☎03-5474-0741

◆本　社：TEL06-6453-5981　◆中部支店：TEL052-783-0825
◆東京サッカー事業部：TEL03-5474-0741　◆九州支店：TEL092-474-8621

オールカラーで届ける感動!

東葛キッズのスポーツ情報なら、毎月10日と30日の
朝日新聞に折り込まれる「朝日スポーツキッズ」が一番!
取材力を生かしたオールカラー、迫力満点の紙面で
紹介されると「まるでプロ選手みたい!」と大好評。
インタビューなどの読み物や、大会情報も充実しています。
大切な思い出と貴重な記録の詰まった縮刷版もどうぞ!

●松戸　●柏　●我孫子　●野田
●流山　●鎌ヶ谷　●白井　●印西



ASA 子どもスポーツ新聞

朝日スポーツキッズ
THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"

〒277-0852 千葉県柏市旭町1-4-19 吉野ビル3F　TEL:04-7143-4021　FAX:04-7143-3453

▶卒業記念品作成致します。

ご予算は、ご相談下さい。
（一人あたり2,500円から7,000円）

▶ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で
残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
（一人あたり3,500円から）

●NER企画のスタンス●

1,写真を見て喜んでいただける人がいる写真を撮るように心がけます。

2,一枚の写真の中で主役は一人!

3,子供たちの表情を重視します!

4,徹底したコストダウンを図り、良質な写真を安価な値段で提供します!

NER企画

スポーツ少年団・
イベント・
その他撮影承ります。

〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3300-10

お問い合せは
TEL&FAX 04-7197-0115

NAGAREYAMACLUBBOYS

流山クラブボーイズ中学部



新入部員募集

流山クラブボーイズ中学には、毎年、各地域の少年野球連盟から
多くの少年達が入部し活躍を続けています。
そして、卒団生の中には甲子園で活躍した選手やプロ野球選手になった選手もいます。
流山クラブボーイズ中学部では、硬式野球の基本から十分な指導が受けられ、
一年生から練習試合を通じて野球の面白さ、楽しさが思いっきり体験できます。
みなさん是非一度、流山クラブボーイズに見学・体験にお越し下さい！！

主な進学先

天理高校	花咲徳栄高校	専修大松戸高校
習志野高校	市立柏高校	安田学園高校
木更津高校	早稲田実業高校	西武台千葉高校
東葛飾高校	県立柏高校	東洋大牛久高校
浦和学院高校	帝京高校	流通経済柏
春日部共栄高校	二本松学舎高校	常総学院高校
聖望学園	日大豊山高校	他
市立船橋高校	関東第一高校	

主な戦績

■春季全国大会　出場12回
■全国選手権大会　出場１２回　（ベスト４＝2回）
■ジャイアンツカップ　出場３回　（ベスト８＝1回）
■関東大会　出場19回　（優勝1回、準優勝１回）
■東日本大会　出場17回　（優勝1回、準優勝１回）
■関東ボーイズリーグ大会　（準優勝１回）

連絡先

総監督　櫻井　利豫

代表　和田　勉　080-8844-0726

監督　猪狩　貴範　080-6159-4373

URL　http://nagareyamaboys.jp

※チームのスケジュールは、ホームページ上から確認できます。
また、お問合せもホームペ゜ジ上からお問合せ可能です。

見学 体験大歓迎！

江戸川河川敷グランド1面にて練習を行っています。

※試合等で不在となるケースもございますのでHP上若しくは代表までお問合せ下さい



公益財団法人
日本少年野球連盟

BOYS LEAGUE

ボールが飛んだ。こころも弾んだ。



「カキーン!」
その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ぼくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。

本大会使用球

MARUS BALL
マルエスボール

(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

ダイワマルエス株式会社 兵庫・大阪・東京・名古屋・九州

ダイワボウグループ